

**創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
事後評価報告書**

事業名（年度）	創薬基盤推進研究事業（令和3年度～令和5年度）
研究開発課題名	がん患者のせん妄発症を予防する抑肝散、および口腔粘膜炎の早期治癒に資する半夏瀉心湯のメタボローム解析によるレスポンドーバイオマーカーの開発ならびに「証」の可視化とその臨床応用
代表機関名	学校法人慈恵大学 東京慈恵会医科大学
研究開発代表者名	上園 保仁

総合評価：良い

【評価コメント】

本研究は、漢方医学の臨床領域で、「証」の可視化とその臨床応用を目指し、抑肝散および半夏瀉心湯を題材に、処方された患者血液のメタボローム解析を行い、探索的なレスポンドーバイオマーカーを見出し、漢方処方の適用患者を抽出する可能性を示したことは評価する。

ただし、「証」の可視化という点では、今回得られた成果を元に、臨床の現場での判定方法を開発し、検証的な検討を行うとともに、漢方医学的診断との紐付まで行うことを望む。また、漢方処方の有効性に関し、腸内細菌との関連性を指摘したことは重要な成果であり、幅広い視点で、多成分系である漢方処方が多様な生体機能に影響を及ぼすことを解明し、漢方処方の有効性解明に貢献することを期待する。

以上